



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 昭和真空

コード番号 6384 URL <http://www.showashinku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小俣 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 田中 彰一

TEL 042-764-0385

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 7,372 | 22.7 | 1,034 | 183.8 | 1,002 | 142.2 | 959 | 132.2 |
| 27年3月期第3四半期 | 6,009 | 80.7 | 364 | — | 413 | — | 413 | — |

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 966百万円 (130.6%) 27年3月期第3四半期 419百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 155.72 | — |
| 27年3月期第3四半期 | 67.06 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|--------|---|-------|---|--------|-----|----------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 12,772 | — | 6,621 | — | 51.8 | — | 1,075.17 | — |
| 27年3月期 | 9,824 | — | 5,778 | — | 58.8 | — | 938.24 | — |

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 6,621百万円 27年3月期 5,778百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | 20.00 | 20.00 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 40.00 | 40.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 | |
|----|--------|------|-------|-------|-------|------|-----------------|------|------------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | 円 銭 |
| 通期 | 10,000 | 27.9 | 1,080 | 112.7 | 1,050 | 78.6 | 990 | 81.6 | 160.75 | — |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|--------|-------------|
| 28年3月期3Q | 6,499,000 株 | 27年3月期 | 6,499,000 株 |
|----------|-------------|--------|-------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|-----------|--------|-----------|
| 28年3月期3Q | 340,242 株 | 27年3月期 | 340,242 株 |
|----------|-----------|--------|-----------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 28年3月期3Q | 6,158,758 株 | 27年3月期3Q | 6,158,758 株 |
|----------|-------------|----------|-------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |
| 4. 補足情報 | 11 |
| (1) 生産、受注及び販売の状況 | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年12月31日)における世界経済は、期の後半にかけて中国を中心とした新興国経済の失速、資源価格の下落などにより減速感が強まりましたが、米国・欧州の先進国の堅調な需要に支えられ底堅く推移しました。また、国内経済については、世界経済の先行き不透明感が強まり、市場ごとに好不調が混在する状況は続いたものの、全体としては総じて緩やかな回復基調が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、主にスマートフォン関連の需要が堅調に推移し、当社グループの主要な取引先である光学・電子デバイス業界を牽引しました。上期好調に推移した圧電部品に関する設備投資はやや一服感が出てきましたが、デバイスメカ各社の次世代製品に向けた取り組みは継続しました。

こうした環境の中、当社グループでは、好調な市場を捉え拡販に注力するとともに、既存技術応用分野や新規市場の開拓に引き続き取り組んでまいりました。また、次世代に向けたデバイスメカからの依頼実験への対応や製品開発にも積極的に対応してまいりました。

生産面では、上期の好調な受注を背景に生産量が増加し、高い稼働率で推移しました。また、メンテナンス性の改善や社内検査の強化による品質向上を継続してまいりました。

損益面では、量産効果や稼働率が向上したことに伴う原価低減効果やグループ一丸となって取り組んでいるコストダウン推進などにより利益率の改善が進みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高77億83百万円(前年同四半期比28.4%増)、売上高73億72百万円(同22.7%増)となりました。

損益につきましては、経常利益10億2百万円(前年同四半期比142.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益9億59百万円(同132.2%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の業績につきましては、主にスマートフォン向け電子部品製造用の設備投資が堅調に推移いたしました。

受注高は63億12百万円(前年同四半期比41.7%増)、売上高は59億2百万円(同34.1%増)、セグメント利益は13億41百万円(同211.3%増)となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

(水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、主に周波数調整工程向けの最新装置の拡販を推進してまいりましたが、設備投資に対する力強さに欠ける状況で推移いたしました。

水晶デバイス装置の受注高は7億40百万円(前年同四半期比16.7%減)、売上高は9億72百万円(同14.8%増)となりました。

(光学装置)

光学業界では、反射防止膜成膜装置の受注が堅調に推移いたしました。受注競争が激しい中、地道な営業活動を展開し利益確保に努めました。

光学装置の受注高は15億13百万円(前年同四半期比13.0%減)、売上高は11億82百万円(同55.8%減)となりました。

(電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、スマートフォン向け圧電部品製造用装置の受注が、上期に比べるとやや一服感が出たものの堅調に推移いたしました。また、既存技術応用分野及び新規市場の開拓について継続して推進してまいりました。

電子部品装置・その他装置の受注高は40億58百万円(前年同四半期比122.0%増)、売上高は37億47百万円(同325.1%増)となりました。

②サービス事業

サービス事業につきましては、ユーザーに対する当社装置の稼働状況の定期的な確認を励行するとともに、生産終了に伴うサポート終了品及び更新機種のご案内を積極的に行い、装置の改造・修理や消耗品の販売に努めてまいりました。

サービス事業の売上高は14億70百万円（前年同四半期比8.5%減）、セグメント利益は3億72百万円（同20.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は96億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億67百万円増加しました。これは主に現金及び預金が21億36百万円、受取手形及び売掛金が4億85百万円、仕掛品が2億62百万円増加したことによるものです。固定資産は31億68百万円となり、前連結会計年度に比べ80百万円増加しました。これは主に有形固定資産が減価償却等により66百万円減少したものの、ソフトウェア仮勘定が25百万円、投資有価証券が43百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は127億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億48百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は55億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億76百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が16億4百万円、1年内償還予定の社債が8億円、1年内返済予定の長期借入金が2億円増加したことによるものです。固定負債は6億円となり、前連結会計年度末に比べ9億71百万円減少しました。これは主に社債が8億円、長期借入金が2億円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は61億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億5百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は66億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億43百万円増加しました。これは主に利益剰余金が8億35百万円増加したことによるものです。

負債も増加した結果、自己資本比率は51.8%（前連結会計年度末は58.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期連結業績予想につきましては、今後の景気動向等不透明ではありますが、当第3四半期連結累計期間の業績進捗等を踏まえ見通しを勘案した結果、売上高は前回と同額ですが営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正いたします。

主な理由につきましては、第4四半期は、今期ここまで業績を牽引してきた圧電部品用装置の売上比率が下がり、また、利益率の低い案件が含まれることや、開発促進による開発費や期末計上費用等により固定費負担が高まることが見込まれています。しかしながら、第3四半期までの業績進捗を踏まえると、通期業績としては利益面で前回発表予想を上回る見込みとなりました。

この結果、売上高は前回同様100億円、営業利益は前回予想比50百万円増の10億80百万円、経常利益は同50百万円増の10億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同20百万円増の9億90百万円となる見込みであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,436,639 | 3,572,837 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,600,563 | 3,086,087 |
| 商品及び製品 | 5,242 | 3,528 |
| 仕掛品 | 2,290,303 | 2,552,326 |
| 原材料及び貯蔵品 | 200,230 | 160,959 |
| 繰延税金資産 | 57,863 | 116,868 |
| その他 | 179,985 | 133,631 |
| 貸倒引当金 | △34,000 | △22,000 |
| 流動資産合計 | 6,736,829 | 9,604,238 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 726,292 | 688,994 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 77,586 | 53,855 |
| 土地 | 2,066,249 | 2,066,249 |
| その他(純額) | 59,913 | 121,362 |
| 有形固定資産合計 | 2,930,042 | 2,930,462 |
| 無形固定資産 | | |
| リース資産 | 11,661 | 18,301 |
| ソフトウェア仮勘定 | 14,000 | 39,400 |
| その他 | 26,186 | 24,203 |
| 無形固定資産合計 | 51,847 | 81,904 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 100,735 | 144,381 |
| その他 | 4,646 | 11,664 |
| 貸倒引当金 | △19 | △211 |
| 投資その他の資産合計 | 105,362 | 155,834 |
| 固定資産合計 | 3,087,252 | 3,168,202 |
| 資産合計 | 9,824,081 | 12,772,440 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,610,481 | 3,215,175 |
| 短期借入金 | 156,441 | 197,572 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | - | 200,000 |
| 1年内償還予定の社債 | - | 800,000 |
| リース債務 | 13,176 | 19,138 |
| 未払費用 | 179,831 | 225,504 |
| 未払法人税等 | 29,859 | 108,240 |
| 賞与引当金 | 123,754 | 115,106 |
| 役員賞与引当金 | 41,000 | 55,000 |
| 製品保証引当金 | 108,000 | 95,000 |
| 工事損失引当金 | 63,600 | 18,540 |
| その他 | 147,298 | 500,998 |
| 流動負債合計 | 2,473,444 | 5,550,277 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 800,000 | - |
| 長期借入金 | 200,000 | - |
| リース債務 | 35,291 | 48,250 |
| 繰延税金負債 | 21,730 | 37,149 |
| 退職給付に係る負債 | 435,598 | 435,298 |
| 長期末払金 | 75,401 | 75,507 |
| その他 | 4,250 | 4,250 |
| 固定負債合計 | 1,572,271 | 600,455 |
| 負債合計 | 4,045,716 | 6,150,732 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,177,105 | 2,177,105 |
| 資本剰余金 | 2,753,975 | 2,753,975 |
| 利益剰余金 | 942,593 | 1,778,438 |
| 自己株式 | △278,091 | △278,091 |
| 株主資本合計 | 5,595,582 | 6,431,427 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 39,613 | 69,188 |
| 為替換算調整勘定 | 150,774 | 132,634 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △7,603 | △11,543 |
| その他の包括利益累計額合計 | 182,783 | 190,280 |
| 純資産合計 | 5,778,365 | 6,621,707 |
| 負債純資産合計 | 9,824,081 | 12,772,440 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 6,009,492 | 7,372,848 |
| 売上原価 | 4,653,992 | 5,152,930 |
| 売上総利益 | 1,355,499 | 2,219,917 |
| 販売費及び一般管理費 | 990,928 | 1,185,148 |
| 営業利益 | 364,571 | 1,034,769 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 574 | 876 |
| 受取配当金 | 267 | 591 |
| 受取賃貸料 | 9,080 | 8,800 |
| 保険配当金 | 15,287 | 16,380 |
| 為替差益 | 40,823 | - |
| その他 | 4,770 | 3,819 |
| 営業外収益合計 | 70,803 | 30,468 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9,631 | 8,624 |
| 売上割引 | 2,855 | 15,811 |
| 為替差損 | - | 17,939 |
| 賃貸物件関係費 | 1,832 | 10,664 |
| その他 | 7,169 | 9,826 |
| 営業外費用合計 | 21,488 | 62,866 |
| 経常利益 | 413,885 | 1,002,370 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | - | 30 |
| 特別利益合計 | - | 30 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 9 | 178 |
| 特別損失合計 | 9 | 178 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 413,876 | 1,002,222 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 14,184 | 100,960 |
| 法人税等調整額 | △13,312 | △57,757 |
| 法人税等合計 | 872 | 43,202 |
| 四半期純利益 | 413,004 | 959,020 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 413,004 | 959,020 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 413,004 | 959,020 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,205 | 29,575 |
| 為替換算調整勘定 | 12,451 | △18,139 |
| 退職給付に係る調整額 | △5,171 | △3,939 |
| その他の包括利益合計 | 6,074 | 7,496 |
| 四半期包括利益 | 419,079 | 966,517 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 419,079 | 966,517 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 真空技術応用装置事業 | サービス事業 | 合計 |
|-----------------------|------------|-----------|-----------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,402,591 | 1,606,900 | 6,009,492 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 32,152 | 15,387 | 47,539 |
| 計 | 4,434,744 | 1,622,287 | 6,057,031 |
| セグメント利益 | 431,010 | 466,790 | 897,801 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 897,801 |
| セグメント間取引消去 | 10,701 |
| 全社費用(注) | △543,931 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 364,571 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 真空技術応用装置事業 | サービス事業 | 合計 |
|-----------------------|------------|-----------|-----------|
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,902,152 | 1,470,695 | 7,372,848 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 8,730 | 22,546 | 31,277 |
| 計 | 5,910,883 | 1,493,242 | 7,404,125 |
| セグメント利益 | 1,341,532 | 372,108 | 1,713,641 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 1,713,641 |
| セグメント間取引消去 | 7,121 |
| 全社費用(注) | △685,993 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,034,769 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日) (千円) | 前年同四半期比(%) |
|-------------|--|------------|
| 真空技術応用装置事業 | | |
| 水晶デバイス装置 | 972,615 | 114.8 |
| 光学装置 | 1,182,070 | 44.2 |
| 電子部品装置 | 3,747,467 | 441.5 |
| その他装置 | — | — |
| 真空技術応用装置事業計 | 5,902,152 | 134.1 |
| サービス事業 | | |
| 部品販売 | 755,728 | 93.3 |
| 修理・その他 | 711,634 | 89.5 |
| サービス事業計 | 1,467,363 | 91.4 |
| 合計 | 7,369,515 | 122.7 |

(注) 1. 上記の金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日) | | | |
|-------------|--|----------------|-----------|----------------|
| | 受注高(千円) | 前年同四半期比 (%) | 受注残高(千円) | 前年同四半期比 (%) |
| 真空技術応用装置事業 | | | | |
| 水晶デバイス装置 | 740,126 | 83.3 | 525,692 | 104.6 |
| 光学装置 | 1,513,923 | 87.0 | 1,334,587 | 283.6 |
| 電子部品装置 | 3,934,983 | 223.4 | 1,843,510 | 134.6 |
| その他装置 | 123,500 | 186.2 | 123,500 | 93.9 |
| 真空技術応用装置事業計 | 6,312,533 | 141.7 | 3,827,290 | 154.7 |
| サービス事業 | | | | |
| 部品販売 | 759,061 | 93.5 | — | — |
| 修理・その他 | 711,634 | 89.5 | — | — |
| サービス事業計 | 1,470,695 | 91.5 | — | — |
| 合計 | 7,783,228 | 128.4 | 3,827,290 | 154.7 |

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日) (千円) | 前年同四半期比(%) |
|-------------|--|------------|
| 真空技術応用装置事業 | | |
| 水晶デバイス装置 | 972,615 | 114.8 |
| 光学装置 | 1,182,070 | 44.2 |
| 電子部品装置 | 3,747,467 | 441.5 |
| その他装置 | — | — |
| 真空技術応用装置事業計 | 5,902,152 | 134.1 |
| サービス事業 | | |
| 部品販売 | 759,061 | 93.5 |
| 修理・その他 | 711,634 | 89.5 |
| サービス事業計 | 1,470,695 | 91.5 |
| 合計 | 7,372,848 | 122.7 |

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。